

「女性が輝く 福井の農業」

vol.1～12

福井県農業試験場

(同)ファーム・スリー・ユー

きむら めぐみ
 ☆☆☆【輝く女性】木村 恵 さん ☆☆☆

(福井県おおい町名田庄小倉)

(同)ファーム・スリー・ユーでは、平成29年(2017年)から青ネギ「若狭幸福ねぎ」を水耕栽培し、周年出荷しています。

執行役員である木村恵さんは、当初兼業で携わってきましたが、子育てをきっかけに農業専業になり、フルタイムで従事しています。全従事者6名のうち女性4名と女性の割合が高く、女性が働きやすい環境づくりに取り組んでいます。

経営面積:6.3ha(ハウス、露地)
 品目:青ネギ、水稲、ミディトマト
 白ネギ、サツマイモ 他



ハウス内の一角で休憩(右:木村秀樹代表)



屈まずに定植、収穫(執行役員の木村久江氏)



カート台車で無理なく運搬

【女性活躍のポイント】

1. フレキシブルな働き方と週休2日

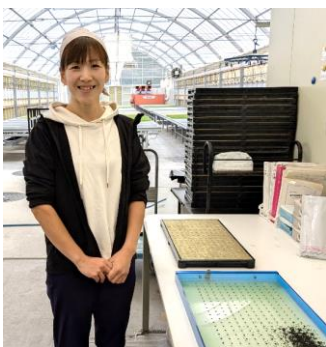
- ・完全週休2日(土日)を実現。JAとの協議により土・日の出荷を休みとし、休日を確保。
- ・それぞれが働きやすい時間で勤務(6:00~、6:30~、8:30~等。午後から児童館で働く人もいる)。

2. コミュニケーションが取れる休憩タイム

- ・ハウスの一角に休憩所や農場内にトイレがある。個人用ロッカー、ハンガーラック等も設置。
- ・10時ごろはみんなが集まり、飲み物を取りながら休憩。経営者夫妻とも和やかに会話が進む。

3. 快適な作業高さでカート台車による運搬

- ・屈まずに腰の高さで定植や収穫作業ができる。
- ・重量物は少なく、収穫した青ネギのコンテナもカート台車で運搬できるため負担が小さい。



木村恵さん。繊細な青ネギの播種を任されている。

【木村恵さんからひとこと】

- ・農業に携わり、風や季節を直に感じられ、農産物を作ることや食べることを大事にできることに感謝しています。
- ・経営者夫妻が二人三脚で当農園を築いてきました。着実に実行する代表の秀樹さん、鋭い決断力のある妻の久江さん2人のバランスがとてもいいのが自慢です。
- ・ここ名田庄は人との関係性が近く、いろんな面でつながりがあって、子育ての面でも気持ちのゆとりがあります。
- ・現在、3姉妹の育児中でもあり、これからはもっと農業に責任を持って取り組んでいきたいです。

【代表の木村秀樹さんからひとこと】

- ・「幸福ねぎ」の栽培は、重量物が少ないので女性も作業がしやすいです。
- ・女性は器用で、農業に向いています。播種や定植などの作業が早く確実。
- ・夏はハウス内が暑いのがたいへん。危険防止のため1人での作業を避け、複数で作業を行うようにしています。
- ・自分は生産面に専念。経理関係は恵さんが担っています。
- ・女性・男性に関わらず、みんなが活躍できる社会になってほしいです。





なぎ 瓜農園

あんど

ようこ

★【輝く女性】安藤 陽子 さん★

(福井県坂井市三国町黒目)

令和3年に大阪から福井に家族3人で移住した、安藤悟さん・陽子さん夫妻。ふくい園芸カレッジ、里親研修を経て、令和5年に独立就農。20代～60代の女性従業員4名とともに、越のルビー、スイカ、メロンを中心とした施設栽培と露地栽培に取り組んでいます。真っ赤に熟した越のルビーは道の駅の人気商品です。

経営面積：49a [施設栽培29a、露地栽培20a]
品目：越のルビー、スイカ、小玉スイカ、アールスメロン、マルセイユメロン、露地スイカ、コカブ



ハウス10棟と露地で約7品目を生産



越のルビーの選別作業を皆で行うのがよいコミュニケーションになっている



家族3人でIターン就農した安藤悟さん、陽子さん夫妻

【女性活躍のポイント】

1. きめ細やかな作業が女性は得意

- ・収穫やパック詰めなどきめ細やかな作業は女性が得意。特にトマトの色の判断など、的確で速い。
- ・気配りも上手な女性従業員により、段取りよく仕事ができる。

2. 融通の利くシフトと急な休みも対応

- ・土日祝を休日とし、ただし、繁忙期には、相談の上で祝日に勤務する時もある。
- ・従業員の都合に合わせて7時～9時～の勤務体制をとっている。
- ・従業員の子供の病気などの急な休みにも対応。家族を優先してもらっている。

3. 福井は子育てしやすい

- ・福井は田舎すぎず、都会すぎず、とても過ごしやすい。
- ・子供が騒いでも隣家を気にしなくてもよいなど、子育てしやすい。
- ・都会と比べて通勤時間が短いので、子供と接する時間が多く取れる。

【安藤 陽子さんからひとこと】

- ・何事も2人で相談して決定しています。向いている方向が同じなので、夫からの提案に「やめたほうがいい」と思うことは、今のところまだないです。私からも提案していきたいと思っています。
- ・福井は公園、山、海が近いのですぐに行くことができ、遊ぶ機会に恵まれた地域です。子どもものびのび育っています。
- ・特に農家は地域との関係が近いです。息子も近所や農家仲間などいろいろな人に構ってもらっています。

【安藤 悟さんからひとこと】

- ・夫婦2人での就農は心強く、モチベーション維持にもつながっています。1人だと気楽なこともあるだろうが、うまくいかないと時の大変さは2人のほうが小さいと思います。
- ・女の人でもできる力仕事は、男の人にもラクであることが多いです。
- ・トイレや更衣室などの環境整備が必要だと妻と話しています。収益を上げて投資し、従業員が働きやすい環境にしていきたいです。



「福井には優しい人しかいないです！」と話す安藤夫妻

米パン工房 coneru / (有)藤本農園

ふじもと かずみ

☆☆【輝く女性】藤本 和美さん ☆☆☆

(福井県若狭町熊川 / 若狭町南前川)

若狭町農業委員、福井県農業女性農業委員の会の会長を務める藤本和美さん。平成4年、夫が家業の農業を継ぐことになり、生後間もない長男とともに、東京から若狭町に移住しました。農業と育児の傍ら、小麦のパンづくりに取り組んでいましたが、米の消費拡大のため、自社で生産したコシヒカリを使用した米粉パンづくりに転換。令和5年1月に、若狭町熊川宿に「米パン工房coneru」をオープンしました。

【米パン工房coneru】

販売品目：米粉パン、ドリンク

営業日：土日祝

【藤本農園】

経営面積：73ha

品目：水稻（コシヒカリ、ハナエチゼン、飼料用米など6品種）



伝統的な町並みを残す熊川宿に佇む「米パン工房coneru」



看板には米とパン、藤本農園の名前がデザインされている



パン作り歴13年
地元保育園にも米粉パンを提供

【女性活躍のポイント】

1. 女性の得意な点を活かした部門

- ・農業の傍らパンづくりに携わる。自社の米を使用した米粉パンに転換。
- ・米パン工房により、藤本農園のPRやイメージアップを図っている。

2. 家族や商工会のサポート

- ・新店舗オープンを決断には経営主（夫）の後押しがあった。忙しい時の家族のサポートも心強い。
- ・地元商工会等の経営支援や事業活用など創業支援が役に立った。

3. 女性委員として活動

- ・「女性も声を上げられる」「言わないと伝わらない」ということを先輩の女性農業委員から学んだ。
- ・女性は固定概念に囚われず、柔軟に考え、男性とは違う視点で考えられる。

【藤本 和美さんからひとこと】

- ・若狭に来た当初は、友達がない、車の免許もない、ムカデやカメムシが出るなど、大きな環境変化にとまどいましたが、息子を保育園に預けてからママ友ができて心強かったです。
- ・倉庫の米の量から米の消費が減っていることを実感し、米農家として米をもっと食べてもらいたいと思い、米粉パンづくりを始めました。
- ・自分たちで作った安全で信頼のできる米や厳選した材料で作った「食」を提供することを大切にしています。
- ・やってみないと成功するか失敗するかは分からないので、まずは挑戦するとよいと思います。



「現場と経営者の思いは違うと感じるが、夫と対等に話ができている」と話す和美さん
(左: 武士さん・右: 和美さん)

【藤本 武士さんからひとこと】

- ・パン工房のことは妻の自由にしたらいいと考えているけれど、経営者としては数字が一番。経営概況を数字で伝え、助言しています。
- ・米粉パンはこれからももっと伸びると思うので、いずれは藤本農園から独立してもよいし、2号店も夢ではないと思っています。

(農)アバンセ乾側

いぬいかわ
うえむら ちはる
【輝く女性】上村 千春さん

(福井県大野市牛ヶ原)

大野市乾側地区の集落営農組織である(農)アバンセ乾側は、水稻種籾を主力に、大麦、ソバ、白ネギ、サトイモ等を生産しています。組合では、上村千春さんの就業をきっかけに、白ネギを新規導入、サトイモを大幅拡大し、経営面積増大・収益アップにつながりました。

上村さんは園芸部門をメインに従事し、春は稲作のオペレーターとしても活躍しています。

【経営概要】

経営面積：281ha

品目：水稻種籾(10品種)、米、大麦、ソバ、白ネギ、サトイモ



2年目に園芸係長に任命され、園芸部門を統括



春は稲作オペレーターとして、大型の田植機、トラクターを操る



大型特殊、フォークリフト、天井クレーンの免許取得。

【女性活躍のポイント】

1. 能力に応じた業務、役職

- ・就業2年で園芸係長に任命され、園芸部門の作業計画、経営管理、労務管理を任されている。
- ・大型特殊、フォークリフトに加え、天井クレーンの免許を持ち、機械作業もこなす。免許取得の際には、組合が取得費用を負担。

2. 組合員の大きなサポート

- ・組合員も従業員も働き者ばかり。協力してくれる人や助けてくれる人が多く、働きやすい環境。

3. 女性も働きやすい環境や配慮

- ・女性用作業着の購入費を組合が負担。作業しやすいつなぎやサロペットを愛用。
- ・更衣室が作業場ごとに計3か所あり、事務所には女性用トイレが設置されている。
- ・早朝からの勤務になる時期は子供が学校に行く時間に一旦帰宅するなど、家庭も大事にできる。

【上村千春さんからひとこと】

- ・末っ子(第4子)の小学校入学を機にがっつり農業で働きたいと思い、アバンセ乾側に就業しました。
- ・力仕事では男性に勝てないけど、それ以外は勝ってやろうと思っています。男の人も女の人も同じようにいきいきと働けるとよいと思います。
- ・農業は1人じゃできない仕事で、たくさんの人の協力があってできる。みんなでわいわいしながら仕事ができるのが農業のよいところです。
- ・体が大事。体のメンテナンスをしっかりして、健康管理にも気を付けています。



【事務局長の中村雅俊さんからひとこと】

- ・上村さんが組合に入って園芸部門を拡大できた。特に米価が下がった時には、園芸が経営を支えてくれました。
- ・上村さんに園芸部門を任せることができ、私自身の負担も軽減できました。
- ・大型機械や重量物を扱うことができるし、若手に作業や技術を教えるのも上手。この組合にとって欠かせない人材です。



せいと 清斗農園

☆☆ **【輝く女性】** しみず 清水 えりか 江梨華さん ☆☆

(福井県福井市中新田町)

「きれいな野菜 すき野菜 清斗農園」を農園ロゴに記し、ひと味違うこだわり野菜を生産、直売する清水江梨華さん。特に、食べやすい品種を選んで作っています。「きょうふく」(ニンジン)「金福すいか」「銀福すいか」など福井の特産品の生産も担っています。
また、いろんな野菜をもっと食べてもらいたいと思い、ピクルスやゆずこしょう等の加工品づくりにも取り組んでいます。

【経営概要】

経営面積：15a (ハウス6棟)
品目：多品目・多品種の野菜
(約25種類)
加工品 (ピクルス等)



「野菜が苦手な人にも食べられるように」と苦みが少なく、食べやすいものを選定

自分が美味しいと思うものを作る。
トマトだけでも10品種を栽培。

直売コーナー等でこだわりの野菜を販売

【女性活躍のポイント】

1. こだわりの品種選定

- ・一味違う、こだわりの品種を自ら選定 (きょうふく、いぼなしきゅうりなど多品種)
- ・福井にしかない特産野菜を生産 (金福すいか、銀福すいか、きょうふく、ディノケールなど)

2. ターゲット層への販売

- ・こだわり野菜を購入する客層の多い直売所に出荷
- ・直売所は商品の売れ行きが分かり、お客様の反応を直に感じられる

3. 家族の協力

- ・夫の慎介さんは別経営で稲作を営むが、稲作も園芸も二人で協力して行う
- ・夫とともに出荷に行くことで、効率よく短時間で複数の出荷先へ提供することができる
- ・特にハウスを修繕する際など、夫の手助けがあって助かっている

【清水江梨華さんからひとこと】

- ・トマトの生産のアルバイトをしたことがきっかけで、自分でもトマトを作ってみたいと思い、就農しました。県の施設(現園芸カレッジ)で1年半の研修を受け、栽培技術を学びました。
- ・私自身、苦手な野菜が多いので、野菜が苦手な人でも食べてもらえるようよく考えて品種を選んでいきます。においや食感など、ちょっと変わった美味しい野菜ばかりです。
- ・「この野菜は苦手だけど、これなら食べられる」とお客様から言ってもらえることが、とてもうれしいです。
- ・珍しい野菜でも、自分が栽培してまず最初に食べられるところが一番の魅力です。
- ・福祉施設に出荷作業を一部委託しており、今後、販売や加工の面でもっと連携を図り、生産・販売活動をどんどん広げていきたいと思っています。
- ・海沿い出身の私には福井の寒暖差が体に堪えますが、この気候により私の野菜も美味しくなってます。是非、食べて下さい。



農園ロゴには北斗七星のひしゃくのように野菜嫌いの子をすくいたいという想いが込められている



とても仲睦まじい、江梨華さんと夫の慎介さん

みやもとフルーツファーム

みやもと ちひろ
 ☆【輝く女性】宮本 知弥さん ☆

(福井県鯖江市下新庄町)

「みやもとフルーツファーム」の代表である宮本知弥さんは、祖父のぶどう園を引継ぎ、ぶどう、ブルーベリーをそれぞれ10品種以上栽培しています。農薬をできるだけ使わず、体にも優しく、おいしい果樹を提供したいと日々挑戦しています。

さらに、県産食材をふんだんに使った、体にやさしいお弁当やお惣菜を製造し、市内外の直売所や姉の宮本采知(さちか)さんが営む菓子店「うちのぶどう」で販売しています。



農薬はできるだけ使わず、よく観察し、世話をしている。害虫は早期発見。



木の成長を重視して育て、大きくてハリのある甘いブルーベリーを提供

【経営概要】

経営面積：38a(ハウス、露地)

品目：ブドウ(シャインマスカット等)

ブルーベリー

加工(弁当、総菜)



「うちのぶどう」には知弥さんが育てた果物を使ったスイーツが並ぶ

【女性活躍のポイント】

1. こだわりのあるものづくり

- ・とにかくよいものを作りたいと考え、失敗したら違う方法を試すなど挑戦し続ける。
- ・農薬をなるべく使わない、食材を吟味するなど、体にやさしいものを提供している。

2. やりたいことに自由に挑戦

- ・自分なりの方法や自分のペースで、自由に挑戦することができる。
- ・農作業の一連の流れ、その過程が楽しい。好きで始めたことであり、フル回転でも楽しく取り組める。

3. お客さんからの声が原動力

- ・「うちのぶどう」の店舗で、お客様の反応が分かる。
- ・「今年のぶどうはいつから?」「おいしい」など声をかけてもらえる。



仲良し姉妹の采知さん(姉:左)と知弥さん(妹:右)



体にやさしいものを提供することを一番に考える知弥さん

【宮本 知弥さんからひとこと】

- ・千葉県で競走馬の厩務員として働いていましたが、祖父が続けてきたぶどう園を継ぐ決心をし、就農。2年間の研修を経て、現在就農5年目です。
- ・生き物が大好きです。馬も植物も生き物なので、1頭1頭、1本1本違うところが共に面白いところだと思います。難しいことも多いですが、楽しんでいきます。
- ・農薬を使わないように害虫は捕殺します。虫は平気だけど、かわいそうだと思ってしまうので、虫を殺すのは苦手で、「ごめんなさい」と言って川に放しています。
- ・「福井のブドウといえばここ!」と言ってもらえるように、農園をPRして、県外からも問い合わせがくるぐらい有名にしていきたいです。
- ・姉とは大の仲良しで、心ざけ合いながら過ごせる良い関係です。姉が営む「うちのぶどう」ともっと連携して、ともに経営を伸ばしていきたいです。

(株)青戸バイサイドヒルズ

にしもと えり
 ★★【輝く女性】西本 絵里さん



(福井県大飯郡おおい町犬見)

小浜湾に架かる「青戸の大橋」の先の高台に広がる果樹園を運営する(株)青戸バイサイドヒルズ。西本絵里さんは設立当初(2015年)に20代で代表取締役に就任。現在、3人の子どもの育児の真ただ中です。

品質のよいブドウやかんきつの生産販売に加え、2023年にブドウの観光農園を開始。お客様がおおい町に足を運び、楽しく過ごす場を提供したいと、農業と観光業との融合に取り組んでいます。



せとか、スイートスプリング、西郷瓢柑(ひょうかん)など多種のかんきつを栽培



高品質でおいしいブドウづくりを目指す。品評会では金賞を獲得。

【経営概要】

経営面積：約115 a

(ハウス 7棟、露地)

品目：ブドウ(シャインマスカット等)
かんきつ(せとか等) 他



果樹園と隣接した複合施設「青戸バイサイドヒルズ」

【女性活躍のポイント】

1. 観光業と農業を融合した事業展開

- ・果樹生産だけでなく、観光も組み合わせた事業を展開し、SNSで細やかに情報発信
- ・関連会社が運営する飲食・観光部門(レストラン、キャンプ場など)と連携

2. お客様の反応が原動力

- ・直売や観光農園を通して直にお客様の反応や評価を実感
- ・お客様からの「今年も美味しいね」というひとことが次作への原動力

3. 周囲のサポートによる育児との両立

- ・果樹の栽培管理は熟練した社員により、高品質、安定したものづくりを実現
- ・関連会社社長の父親にも意見を聞き、共に経営判断をすることもある

【西本 絵里さんからひとこと】

- ・観光農園を通し、お客様が楽しむ姿、思い出をつくる姿が直に感じられる。認知度が上がり、わざわざ足を運んでくれる人が増えるのがうれしい。
- ・「今年もよかった、来年も来たい」と思ってもらうことを信念とし、事業を進めている。安定したものづくりにより、販売、観光の両方面でお客様の想いを裏切らず、青戸バイサイドヒルズのファンを増やしていきたい。
- ・昨年から増えている外国人でのお客様が今後も増加すると期待している。アメリカの大学留学により培った英語力が活かし、インバウンドの受入れを充実していきたい。
- ・会社設立当初は、父親が進める地域資源を活かした観光事業の実現を追うことで精いっぱいだった。今でも不安もたくさんあり、会社のことを考えない日は1日もないが、経営者として事業を継続する責任を負っているし、もっともっとよい方向にもっていきたいと考えている。



社長業と育児にまい進する西本代表



海を望む大型ハウスや露地でブドウやかんきつを栽培

(有)黒川産業

くろかわ くみこ

ひらさわ あきこ

★★【輝く女性】黒川 公美子さん★★ ★★平澤 暁子さん★★ (福井県あわら市北潟)



@KUROCHANTAMAGO

福井県のブランド地鶏「福地鶏」の飼育、生製品の加工に取り組む(有)黒川産業。先代は肉用鶏(ブロイラー)を生産していたが、娘の黒川公美子さんが平成29年から福地鶏の飼養を開始、その後、福地鶏のみの飼養に経営転換し、令和6年に経営継承しました。加工担当の平澤暁子さんは、新鮮な卵をふんだんに使ったカステラなどを製造。週2回程度イベントや道の駅にキッチンカーで出店し、福地鶏の卵と肉を両方を使った親子丼などを提供しています。

【経営概要】

養鶏：福地鶏 約2,500羽
(卵、肉)
加工：菓子(カステラ、プリンなど)
総菜(ウインナー、手羽煮など)
キッチンカー(親子丼など)



福地鶏の卵を手際よく集める黒川代表。
平飼いの鶏舎で福地鶏が健やかに育つ。



キッチンカーでイベント等に出店。
親子丼、プリン、エッグタルトが人気。



宗京明里さん(中央)が新たに入社し、
加工、飼育の体制が増強された。

【女性活躍のポイント】

1. 自分のしたいことに挑戦

- ・(黒川代表) 先代のブロイラー生産の基盤や技術を引継ぎつつ、福地鶏(卵・肉)に経営転換
- ・(平澤さん) キッチンカーでの商品提供、福地鶏の卵や肉を使用した新商品開発に挑戦

2 お客様の声が届く、自分の想いが伝わる喜び

- ・(黒川代表) 福地鶏への経営転換・直接販売により、お客様の声が届き、作業の励みになる
- ・(黒川代表) ふるさと納税のお客様に毎回、日々の出来事や想いを伝えるお便りを発行している

3. 自身での休日や労働時間の設定

- ・(平澤さん) 仕込みや出店に合わせて勤務時間を自由に設定できる
- ・(平澤さん) 閑散期となる冬期は休日を多めに設定し、旅行や帰省などを楽しむ

【代表取締役の黒川 公美子さんからひとこと】

- ・福地鶏への転換・直接販売、加工事業により、お客様との距離が近くなり、お客様の声を飼養改善や商品開発に活かしています。
- ・父が苦勞して作り上げた会社を継続していきたいです。ブロイラーと違って毎日採卵が必要になるなど経営スタイルが大きく変化しましたが、自分のやりたいことに挑戦できています。
- ・平澤さんにはキッチンカーでの料理提供や菓子製造に関することを任せており、我が社にとって欠かせない存在です。



福地鶏を抱く黒川代表

【加工部門責任者の平澤 暁子さんからひとこと】

- ・黒川代表の娘の友紀子さんとは調理専門学校同期で、私も6次産業化に関わりたと思い入社しました。
- ・仕事の段取りや勤務形態を自由に決められることが出来る上、新商品開発に向けた試作も自由に取り組み、働きやすいです。
- ・キッチンカー出店計画、商品製造計画、収支など加工部門に関することはすべて任せられていて、やりがいがあります。



キッチンカーで販売する平澤さん

タキガハナファーム(株)

きどぐち みなみ

★★【輝く女性】木戸口 美波さん★★

(福井県鯖江市下野田町)

タキガハナファーム株式会社は、鯖江市西部において、米を中心に、麦、そばの栽培を行っています。米はコシヒカリ、あきさかり、いちほまれなど6品種を生産しており、ピロール農法にも取り組んでいます。

木戸口美波さんは宮城県出身で、南越前町出身の夫とともに、約10年前に移住。3年前にタキガハナファームに入社し、現在は現場全体を統括する立場として、瀧ヶ花代表とともに農園経営の発展、地域農業の継続を目指しています。

【女性活躍のポイント】

1. 信頼関係を築く力

- 一人ひとりと向き合い、丁寧に言葉を交わすことで、従業員同士の信頼を深め、生産性や現場の成果向上に結びつけていく。

2. 人を育てる力

- 女性ならではの観察力や共感力を活かし、「任せる」と「支える」のバランスを取りながら、若手人材の育成に繋げていく。

3. 変化を見抜く力

- 田んぼの状態や従業員の様子など、小さな変化に気付きやすい。見落とされがちなサインを拾い、トラブルを未然に防ぐ。

【経営概要】

経営面積：80 ha

生產品目：米、大麦、そば



ピロール農法によるコシヒカリも生産しています



「もっと良くなる」という前向きな気持ちを原動力に取り組む



「手をかけるほど田んぼへの愛おしさが増します」と話す木戸口さん

【木戸口 美波さんの農業に対する想い】

- 農業アルバイトを通して、多様な作物の生産にも携わってきました。そうした経験を通じて「自然の循環」や「人とのつながり」の大切さを学び、現在のタキガハナファームでの仕事にも活かされていると感じています。

- 稲作は、米を作る営みであると同時に、田んぼという命を育む場に寄り添ってその声に耳を澄ますことでもあると考えています。田んぼが田んぼとしての機能を保ち続けられるよう、責任と愛情をもって管理しています。畦の修繕など地道な作業が多いですが、その積み重ねこそが田んぼの生命力を守り、自然と人の営みを未来へと紡いでいくのだと感じています。

- 瀧ヶ花社長とは、年齢も性格も性別も違いますが、お互いの弱みを補い合いながら歩んでいます。ときには意見がぶつかることもあります。社長の姿勢を心から尊敬しています。私たちが目指す先は同じであり、社長の「90歳まで米づくりを続けい」という想いを、従業員と力を合わせて必ず実現したいと考えています。

【瀧ヶ花 祥晃 代表取締役からひとこと】

- 朝早くから圃場の水回りを行う木戸口さんの姿には、仕事への責任感とやる気を感じられます。田んぼや地域のことを心から思う真摯な気持ちに、深く感謝しています。
- 木戸口さんは、物事をよく考えて、一生懸命に仕事をされます。口数の少ない私に代わって、従業員への的確な指示や段取りをしてくれるため、私の負担も大きく軽減されています。会社にとっても私にとっても非常に頼りになる、欠かせない存在です。



「地域の農地を守っていきたい」と話す代表の瀧ヶ花さん

(農)ハーネス河合

かとう まゆみ

おぐら みき

★【輝く女性】加藤 真由美さん ★★ 小倉 美紀さん★★

(福井県福井市山室町)

農事組合法人ハーネス河合は、福井市北部の河合地区の3集落からなる集落営農組織で、水稻を中心に麦、大豆、そば、レタス、水菜、ブロッコリー等を生産しています。また、石臼挽きのそば粉を県内外のそば店などに提供しています。

正職員8名のうち2名が女性。加藤真由美さんは5年前にパートから正社員に登用され、園芸と事務を担当しています。今年2年目となる小倉美紀さんはそば加工を担当。

皆が働きやすい環境とするため、休憩室等を整備予定です。

【経営概要】

経営面積：230 ha
ハウス4棟
そば製粉所
生産品目：米、麦、大豆、そば
園芸（レタス、水菜他）
加工（そば製粉）他

【女性活躍のポイント】

1. 担当部門を任されている

- ・(加藤さん) 園芸部門の作業計画、人員計画など統括し、責任とやりがいを持って従事している。
- ・(小倉さん) そば加工について、製粉、受注、発送など一連の業務を主担当として担っている。

2. 園芸、加工、経理業務に女性力を発揮

- ・(加藤さん) 園芸業務に加えて、経理業務も行っている。
- ・(小倉さん) 顧客の要望にきめ細やかに応じてそば粉を出荷。清潔な作業環境が保たれている。

3. トイレ、更衣室、休憩室を整備

- ・5年前に水洗トイレへの改修を行うとともに、作業用者の屋外トイレを増設。
- ・休憩室、更衣室の整備など、さらなる環境改善を予定している。

【園芸・経理担当 加藤 真由美さんからひとこと】

- ・15年前のハウス導入時から園芸に従事しています。農産物は手をかければかけるほど愛おしく感じ、手塩にかけた農産物が喜んでくれる人のところに届いてほしいと願う気持ちが強くなります。
- ・ここ数年は経理業務の比重が高くなっていますが、園芸の業務には愛着があるのでこれから携わっていきたいです。



園芸だけでなく経理業務も担当する加藤さん

【そば加工担当 小倉 美紀さんからひとこと】

- ・そばの製粉、受注、出荷等そば加工全般を任されており、とてもやりがいがあります。
- ・今後はそばの製麺技術を習得したいです。そばの生産にも携わりたいです。農業機械に乗れるとカッコいいと思います。



「そばの沼にどっぷりはまっています」と話す小倉さん

【縫田 義治 組合長と加藤 慎一 事務局長からひとこと】

- ・設立当初は女性職員を雇うなんて思いもしなかったが、業務内容に合わせて女性職員を増やしていきたいです。(縫田組合長)
- ・小倉さんにはそばの商品開発にも取り組んでもらいたいし、加藤さんには事務をもっと任せていきたいです。(加藤事務局長)



レタスやブロッコリーの収穫は早朝から行い、鮮度のよい状態で出荷



石臼10台を稼働し製粉。顧客に合わせてそば粉を調製、出荷



(右から)縫田組合長、加藤事務局長、小倉さん、加藤さん

滝本ふあーむ

(福井県勝山市平泉寺町平泉寺)

たきもと かずこ **滝本 和子さん** たきもと しおん **滝本 紫音さん**

勝山市平泉寺地区の中山間地域で米作りに取り組む滝本ふあーむ。代表の滝本和子さんは、10年前に就農し、父母の想いと技術を受け継ぎ、昔ながらの方法で米づくりに取り組んでいます。

また、ポン菓子や味噌の製造を行い、玄米麴で作る味噌は販売サイトにおいて3年連続、部門1位を獲得するほどの人気商品です。

今年4月、念願のパン屋カフェをオープン。長女の紫音さんが店長として店舗運営し、パン作りやランチ提供に腕を振るっています。温かみのあるお店には県内外からお客様が訪れ、地域のにぎわいも生み出しています。

【経営概要】

経営面積：1.9 ha

経営部門：米、ポン菓子、
味噌、パン、
カフェ

※パン屋カフェは週3日
営業（土・日・月）

【女性活躍のポイント】

1. 農業をベースとした食ビジネスを展開

- ・食材や地域をよく知る農業者として、パン屋カフェを展開。
- ・お米や玄米麴味噌はweb販売のみ。生産のこだわりや商品価値を最大限アピールし、高価格販売につなげている。

2. 実行力と挑戦心を原動力にステップアップ

- ・毎回50種類ものパンやスイーツがお店に並ぶ。お客様に喜んでもらえるお店にしようと、次々にアイデアを実行。
- ・新しいことに挑戦し続けたいという想いを強く持っている。世間から注目されることもやる気につながっている。

3. 人と人をつなぎ、未来の農業者を育成

- ・県内の学生アスリートがスポーツに打ち込めるようお米を提供。支援した学生たちが進んで農業のお手伝いをしてきている。
- ・就農を希望する人が仲間として農業を行えるよう準備中。農業機械の貸与、農業技術の伝達、販売など連携して取り組む予定。



米づくりが滝本ふあーむの原点。冷たい湧水をあて、米を育てる。



旧保育園の面影を残した「平泉寺のパン屋さん」。パン屋と洋菓子店の中間となるお店を目指す。

【滝本 和子さんの想い】

- ・楽しくないと続けられないし、同じことばかりではつまらない。常に楽しいことや新しいことに挑戦しています。4人の子供達には、自分の背中を見て育ててほしいです。
- ・農業体験に来る学生アスリートが、お腹いっぱい食べる姿に元気をもらっており、学生アスリートを支援する輪が福井県内の農家に広がってくれたらと願っています。
- ・新規就農を希望している人と、米作りや販売が連携してできるよう準備中です。若者が地元に残って農業ができるような農業の仕組みも作っていきたいと考えています。
- ・来春、農家民宿も開業を計画しています。若者が訪れる地域にすることで、地域を盛り上げていきたいです。



「地域を盛り上げたい」と強く思う滝本和子さん(左)

【滝本 紫音さんの想い】

- ・農業がベースなのでパン屋カフェの営業は週3日のみです。来てくださるお客様にいつも喜んでもらえるよう、多くの商品を揃え、さらに、毎週新作を出せるよう、試作を重ねています。
- ・地元食材を使う最大の良さは食材が新鮮であること。これこそが平泉寺でパン屋カフェをする意義だと思っています。食材をよく知る農業者の視点と食材を活かす栄養士の両面の視点で商品を作り、訪れる方々に地元食材のおいしさと地域農業の豊かさを伝えたいです。



カフェでパンやスイーツ、ランチを提供する店長の滝本紫音さん

(株)無限大

(福井県三方郡美浜町興道寺)

★【輝く女性】 ^{なかの}仲野 ^{いくみ}郁美さん ★ ^{てらにし}寺西 ^{かよこ}香代子さん ★

(株)無限大は2007年(平成19年)に設立され、米、黒枝豆、牧草の生産に加え、2017年からはLED照明を備えた大規模ハウスを導入し、トマトの栽培を開始、通年出荷しています。ミディトマトは「紅い鈴」、黒枝豆は「黒い瞳」という独自ブランドを展開し、県内外へ出荷しています。

従業員18名のうち女性が16名を占めており、役員や部門統括など、複数の女性が責任ある立場で組織運営に関わっています。

【経営概要】

経営面積：28ha
経営部門：米、黒枝豆、
ミディトマト、
牧草(えん麦)

【女性活躍のポイント】

1. 意思決定に関わるポストに配置

- ・部門の統括者として作業計画の策定、実行、管理を任されている
- ・役割と責任を明確にし、前向きな姿勢を醸成している

2. 個々の強みを活かし、能力発揮を後押し

- ・失敗しても恐れずやってみるという意欲を社長が後押ししている
- ・ライフスタイルを尊重した就業環境を整えている

3. 重労働を軽減し、フィジカル面のハンデを解消

- ・ローラーコンベヤ、自動結束機等により出荷調製作業負担を軽減
- ・フォークリフトやドローンなどの資格取得費用を会社が支援



LEDが輝くハウスでトマトを生産



重労働軽減が図られた選果場

【取締役 仲野 郁美さんの想い】

- ・黒枝豆の栽培期間中のみアルバイトとして3年間携わった後、2011年に社員第1号として入社し、同時に取締役にも就任しました。
- ・米や枝豆などの水田部門を統括するほか、総合職として幅広い業務を担当しています。
- ・体力と思い切りの良さを強みとし、機械作業も問題なくこなしています。人に教えながら仕事をする立場として、やるべきことを確実に押さえ、健康第一・安全第一でがんばっていきたいです。



現場を支える仲野取締役

【トマト生産事業統括 寺西 香代子さんの想い】

- ・2か所にあるトマトハウスのリーダー2人を統括し、トマトの生産管理と従業員10人のオペレーションを担当しています
- ・仕事も家庭も両方がんばりたいと考えており、限られた時間の中でどのようにやりくりするか悩みながら、日々奮闘しています。
- ・仕事に対し意識を持って取り組むことで結果は必ずついてくると考えており、全員が同じ方向を向いて仕事ができるよう、自身の考えや想いを皆に共有しています。



トマト生産を支える寺西統括

【代表取締役 木子 博文さんのメッセージ】

- ・仲野さんには外の仕事を任せており、頼もしい存在です。これまでどんな状況でも一緒に取り組んできてくれ、仲野さんがいなかったら今の会社はないというくらい、良きパートナーです。
- ・寺西さんは植物生理を学び、データや数字をもとに考えることができる人材です。トマト生産では判断しなくてはならない場面が多いですが、失敗しても良いので思い切って挑戦してほしいです。
- ・女性がフィジカル面をハンデとすることなく、持っている能力を発揮し、がんばりたいという思いを実現できるようにすることは、経営者として努力すべき責務であると考えています。



女性の力を引き出す木子社長